

5-4 令和5年度公民館の概要・事業報告

中央公民館

◇運営の基本方針

中央公民館は、主に社会教育に係る学習関連の情報収集・提供と公民館の施設設備の充実を基盤に、市民の学習活動の充実を図ることに主眼を置く。

教育行政の充実と市民の生涯学習の支援体制の拡充を図ることを目的として、市内各地区公民館、その他各教育施設の施設間ネットワークを構築し、学習機会の提供及び専門的な学習相談の体制を整備することを目指す。

自主事業としては、全市域を対象にした諸集会事業を開催するとともに、芸術文化、健康、環境など各分野に関する専門的な講座を実施する。

◇重点施策

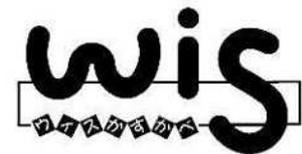
- 1 各公民館の情報を統括し、生涯学習に係る情報の収集・提供窓口としての機能の充実を図る。
- 2 学習サークルの成果発表、サークル間の交流、地域参加の拠点として施設・設備の整備充実、有効利用を図り、公民館機能の充実を目指す。併せて芸術・文化創造の高揚に寄与する。
- 3 市民の多様な学習要求に応える、高度で専門的な講座の開設及び現代的課題に対応した事業を企画し実施する。
- 4 地域の人材の積極的な活用を進めるとともに、社会教育に関する指導者とボランティアの養成及び職員の専門的知識修得の中心機関としての機能の充実を図る。

◇重点事業

- 1 文化推進事業
- 2 学習支援事業
- 3 教養講座



所在地 〒344-0061 春日部市粕壁6-9-18番地1
 TEL 048-752-3080
 FAX 048-754-0158
 E-mail chuokou@city.kasukabe.lg.jp



職員 館長 矢野仁史
 <管理担当>
 主幹 川口英典
 主査 篠原将典

主任 桜井 厚
 主任 松本 道代
 フルタイム 石下 勉
 フルタイム 溝渕 聰 (5月まで)
 フルタイム 内田 泰子 (7月から)
 <事業担当>
 課長(兼務) 川辺 孝
 主幹(兼務) 金子 忠之
 主査(兼務) 須藤 俊英
 主任(兼務) 大澤 恵太 (社会教育主事)
 主任(兼務) 高島 美香 (社会教育主事)
 フルタイム(兼務) 落合 珠美
 フルタイム(兼務) 松江 恵美子

(環境整備・情報提供・会議・研修・支援事業など)

No.	事業名	対象館	内容
1	公民館施設・設備の整備(主なもの) ※掲載は一部。 ※簡単な修繕については、各地区公民館の職員で編成する修繕班で対応している。	中央公民館	・エレベーター更新工事・自動火災報知設備修繕・講堂等照明機具交換修繕・男子トイレ大便器交換修繕・消防設備交換修繕
		粕壁南公民館	・和室エアコン修繕
		内牧地区公民館	・体育室北面西側雨漏り修繕 ・研修室I天井雨漏り修繕
		内牧南公民館	・2階和室・講習室屋根部分雨漏り修繕
		豊春地区公民館	・事務室ブラインド外1交換修繕 ・2階女子トイレボールタップ等交換修繕
		豊春第二公民館	・1・2階ホール照明器具修繕
		武里地区公民館	
		武里東公民館	・給水管漏水修繕
		幸松地区公民館	・スタンドミラー修繕 ・浄化槽流入層水中ポンプ交換修繕
		幸松第二公民館	
		豊野地区公民館	・入口階段修繕 ・2階和室空調機修繕
		藤塚公民館	・網戸張替修繕
		武里南地区公民館	・屋上防水修繕
		武里大枝公民館	・エレベーター更新工事 ・1階事務室スピーカー配線引き直し修繕
庄和市民センター(正風館)			
庄和南公民館	・駐車場滞水改善修繕 ・多重伝送スイッチ交換修繕		

No.	事業名	内 容
2	公民館学習情報提供事業	地区公民館と中央公民館、また、地区公民館同士の連携調整を図り、公民館だより、月間事業予定、利用サークル、講師人材情報、教材・機材情報などの各種学習情報提供を効果的に行う。
3	公民館関係団体支援	学習相談、団体運営相談・指導・援助、各種情報提供、団体間交流促進など。
4	公民館関係資料調査及び収集	学習情報の提供に資するための、各種資料の収集・整理を行う。社会教育課及び視聴覚センターと連携。
5	ホームページ等の作成	春日部市ホームページ上の情報の更新、公民館新着情報（ブログ）の作成など

No.	事業名	発行日	発行部数	名 称	内 容
6	各種公民館関係資料の作成・発行	7/1	130部 ホームページ掲載	令和5年度 春日部市の公民館 (令和5年度事業計画・ 令和4年度事業のまとめ)	事業計画・事業報告・利用状況など
		6/1	2部 ×16館 ホームページ掲載	令和5年度 春日部市公民館利用団体一覧	・活動内容別 ・公民館別 (閲覧用及び職員内部資料用)
		平成7年度	2000部	春日部市民戦争体験記「語り継ぐ平和への想い」の頒布	中央公民館窓口で頒布

No.	事業名	期 日	回数	対象・人員	内容（テーマ）	特 記
7	新任職員研修会	4/10 4/12	2	新任職員	公民館の役割について・公共施設 予約システムについて ・予算執行について	
8	公民館長会議	月1回	12	公民館長	公民館運営に関する情報交換・研究協議・連絡調整	
9	公民館職員会議	月1回	12	関係職員	情報交換・実務研修 ・貸館基準、著作権 ・実践事例報告 ・情報の共有化ほか	
10	各種プロジェクト	随時		担当職員	・公民館合同フェスティバルの検討ほか	職員会議プロジェクト企画担当
11	修繕班	随時		担当職員	各公民館の軽易な修繕作業	

中央公民館 1

事業名 テーマ	サークル体験月間	対象	一般	定員	特になし		
ねらい	中央公民館のサークル活動の促進と利用の活発化を目指す。						
協力機関 及び団体	事業にご協力いただけるサークル	特色 位置づけ	サークル との連携	SDGsの 目標No	4.11		
会場	中央公民館 粕壁南公民館	教材 資料等	教材等は、サークルで準備				
実施まで の経過	4月1日（土）公民館だより4月号 4月2日（日）サークル申込み開始 5月16日（火）サークル申込み終了 6月1日（木）公民館だより6月号	PR方法	公民館だより4・6月号 ポスター・チラシ				
		受付方法	直接サークル活動の会場へ				
月日（曜）	時間	内容	方法	参加者			講師・助言者の職名 氏名
				男 計	女 計	合計	
回数	総時間数						
6月6日（火） ～7月9日（日）	約一か月間	各サークル活動の体験	体験	19サークル参加 19人参加			各サークルの皆さん
		サークル名					
		コール・ライム	自彊術クラブ				
		コーロ・イリス	自彊術ふれあい教室				
		うたごえかすかべ	画藤会				
		春日部市民混声合唱団	陶藤会				
		コーラス麦笛	カーレット春日部				
		簡単ピアノ会	ピンポンカラテサークル				
		オカリナサークルそよかぜ	日本語教室				
		春日部アコーディオンサークル	楽しい中国語				
		ペン習字むつみ会	FSE				
		むつみ会2					
企画運営 上の工夫	中央公民館の主な施策である「サークルの学習活動を支援するため、研修の機会、団体の運営及び活動の相談など支援体制の充実を図る」に則って実施。昨今の新型コロナウイルス感染拡大で低迷が見られたサークル活動も、令和5年度中には再び隆盛をみせている。窓口等でのやり取りで、「新しい活動をしたが、既存のメンバーのなかに加わるのは不安」という声や「まずは活動を見てみたい」との声が多々ある。そのため、公式にサークル体験のできる機会を設けることで、双方をマッチングさせることを目的とし、併せて、公民館と各サークルの連携を図るきっかけとする。なお、当日の運営等については、各サークルに全面的な協力をいただく。						
成果 参加者の 声など	サークル体験に参加した方のうち、およそ半数（19人中9人）が新たにサークルに入会した。一方で全体の参加者数は少なかった。活動を体験したい方やサークルに参加したい方のためであることはもちろん、公民館職員と各サークルが関りを持てる貴重な機会でもあるため、毎年、実施期間を設け、継続して実施していきたい。						
課題と展望	報告会に参加いただけたサークル数が少なかったが、サークルへの新規会員の加入を喜ぶ声や、公民館主催事業等への協力的な意見も伺うことができた。公民館は利用者（サークル等）あってこそその施設であるため、貸館等のやりとりにおいても単なる窓口対応だけで終わらせず、各サークルとのつながりを念頭に置いて業務を行うよう、すべての職員が意識すべきところである。						

事業名 テーマ	音響操作セミナー		対象	青少年～成人		定員	10人	
ねらい	中央公民館の機材を用いて音響操作を行うことで、参加者に音響の知識を深めてもらうとともに、操作を体験することで、自主的に音響操作を行ってみたいという意識付けを図る。また、今後の公民館主催事業などで、ボランティアとして音響操作の協力を仰ぐことも目的とする。							
協力機関 及び団体	P Aサークルプラグド		特色 位置づけ			SDGsの 目標No	4・12	
会場	中央公民館 講堂		教材 資料等	中央公民館 音響機器 講師作成 資料				
実施ま での経 過	4～5月 講師折衝 6月1日(木) 広報かすかべ発行 6月1日(木) 今月のお知らせ発行 6月1日(木) 受付開始 6月9日(金) 前日準備		PR方法	広報かすかべ6月号、今月のお知らせ6月号、ポスター				
			受付方法	6月1日(木) から直接または電話で中央公民館に申し込み				
月日(曜)	時間	内 容	方法	参加者			講師・助言者の職名 氏 名	
回数	総時間数			男	女	合計		
6月10日(土)	9:00～17:00	1日目 音響機器について(講義) 音響機器について(実技) 音響機器のセッティング 2日目 音響機器のセッティング リハーサル デモ演奏オペレート 片付け 反省会	講義 実技 実技 実技 実技 実技	7	5	12	P Aサークルプラグド 代表 中村 純子	
6月11日(日)	9:00～17:00			7	5	12		
2日間	16時間00分			14	10	24		
企画運営上 の工夫	多種多様な機能を持つ中央公民館の音響機材に積極的に触れてもらうことで、機器操作の楽しみが出てくるような、講義の進行を工夫する。 今後、中央公民館講堂の機器操作ボランティアとして活動していただけるよう、意識づけの配慮をする。 講座内容の充実を図るため、昨年度に続きライブフェスタと別開催とする。そのため、受講生にはライブフェスタへのボランティア参加を案内する。							
成果 参加者の 声など	参加者の声 ・「ノウハウを学ぶことができたので、自身の活動に活用したい」、「音響さんの細やかな心配りや、設営の大変さが理解できた」等の感想があった。 ・9月に予定している、市内公民館等で活動するバンドを対象とした「かすかべライブフェスタ」の運営にも参加したいとの声が多数あった。 ・事業担当職員もOJT(業務研修)の一環で参加したことで、舞台音響の基本的な部分について理解を深めることができた。多様な利用目的があるなかで、的確に舞台・音響設営ができることが望ましいため、実践しながら学習する良好な機会となった。							
課題と展望	座学で知識を深めるとともに、実践してこそその学習内容である。公民館においては、必ずしも職員主導ではなく、地域市民と広く協働しボランティアとしてイベントの裏方に参画する機会を提供することなども今後、極めて重要となる。							

事業名 テーマ	第30回 春日部市民県展入選作品展		対象	一般		定員	定めず	
ねらい	ギャラリースペースを活用し、市民の美術への関心と理解を高めるため、優れた作品を鑑賞する機会を提供する。市内の第71回県展入選者・入賞者等の作品を展示することで、市民の市への愛着を深め、さらに出品者相互の交流を図る機会となることも目的とする。							
協力機関 及び団体	春日部市民県展入選作品展実行委員会		特色 位置づけ	ギャラリーを使用した美術展、実行委員会による運営		SDGsの 目標No	4・11・17	
会場	中央公民館 ギャラリー		教材 資料等	作品目録				
実施までの 経過	5月31日(水) 入選入賞者調査(「県展」) 6月1日(木) 公民館だより6月号 6月3日(土) 第1回実行委員会開催 6月3日(土) 県展入選者へ出品依頼送付 6月9日(金) 案内はがき、ポスター配布開始 6月24日(土) 第2回実行委員会開催 7月1日(土) 広報かすかべ7月号		PR方法	広報かすかべ7月号 各地区公民館だより6月号 ポスター・案内ハガキ・ホームページ 安心・安全メールほか市公式SNS 市役所1階テレビモニター				
			受付方法	当日会場で直接受付 入場無料				
月日(曜)	時間	内 容	方法	参加者			講師・助言者の職名 氏 名	
回数	総時間数			男 計	女 計	合計		
7月2日(日)	13:00~17:00	搬入・展示	展示				出品者は第71回県展入選者・入賞者等のうち、春日部市民の方 	
7月4日(火)	10:00~17:00	一般公開		47	81	128		
7月5日(水)	10:00~17:00	一般公開		59	55	114		
7月6日(木)	10:00~17:00	一般公開		51	83	134		
7月7日(金)	10:00~17:00	一般公開		34	56	90		
7月8日(土)	10:00~17:00	一般公開		95	108	203		
7月9日(日)	10:00~16:00 16:00~17:00	一般公開 搬出		71	94	165		
全7日間	46時間		357	477	834			
企画運営上の工夫	専門的な意見を企画に反映させるため、全6部門から14名で構成される実行委員会を組織した。今年度も、案内ハガキとポスターを配布したほか市ホームページ、安心安全メール、市役所1階テレビモニター等への掲載依頼など多方面でのPRに努めた。出品作品については、県展入選・入賞の春日部市民すべてに出品を依頼し、日本画・洋画・彫刻・工芸・書・写真の6部門 57点を一堂に展示した。また、主催者として、中央公民館からのあいさつ(県展の説明)をA3カラーで作成し、会場入り口に掲示するとともに、来場者がわかりやすいよう「作品目録」は展示順に記載した。会期中は出品者に受付当番を依頼し、要望に応じて来場者に作品の解説をしてもらった。さらに、受付当番(出品者)の名札を用意し相互の交流を深められるようにした。併せて、来場者の増加を図るため、会期中に開催した「音楽鑑賞会」において開催アナウンスをした。なお、来場者にアンケートを実施し意見・感想を募った。							
成果参加者の声など	市民の作品57点を展示。アンケートでは大変満足と満足が多くを占め、来場者の大多数に喜んでいただけたと思われ、市民が良質な芸術・文化に触れる機会を提供できたと考えられる。 来場者の声 ・春日部市在住者の作品を地元会場で見ることができました。優れた作品が多く、感動し豊かな心になりました。 ・高校生奨励賞の作品が面白かった。など							
課題と展望	埼玉県展の開催から当事業の第1回実行委員会開催までタイトなスケジュールとなっている。県展開催日に視察兼情報収集のために県立近代美術館(北浦和)を訪問している。この際の事務的な効率化を図るため、予め春日部市からの出展者の情報等を共有いただけないか、県担当者との連絡調整を密にしていきたい。							

事業名 テーマ	音楽鑑賞会 「田口菜々子 電子オルガンリサイタル」		対象	一般		定員	175
ねらい	質の高い芸術作品に触れる機会を提供し文化意識の向上に資する。 春日部ゆかりの演奏家を招いての演奏会とし、地元での活動推進と、郷土意識の高揚をめざす。						
協力機関 及び団体	春日部市民劇団かざぐるま		特色 位置づけ	春日部ゆかりの 音楽家による 演奏		SDGsの 目標No	4・11
会場	講堂 控室 大会議室		教材 資料等	プログラム			
実施までの 経過	4月20日(木) 出演者打合せ 5月14日(日) ポスター掲示 6月1日(木) 広報・公民館だより6月 号発行		PR方法	公民館だより 6月号 ポスター・チラシ 広報かすかべ6月号			
	6月10日(土) 整理券配布開始 7月7日(金) 電子オルガン搬入・リ ハーサル 7月8日(土) 本番		受付方法	6月10日(土) から、中央公民館 で整理券(351枚+α)配布 当日は整理券を持った人から先 着順に入場			
月日(曜)	時間	内 容	方法	参加者			講師・助言者の職名 氏 名
回数	総時間数			男 計	女 計	合計	
7月8日(土)	14:00~16:00	「田口菜々子 電子オル ガンリサイタル」 	鑑賞	72	151	223	演奏者 田口 菜々子 (電子オルガン奏者)
1回	2時間			72	151	223	
企画運営上 の工夫	春日部市出身の演奏者による演奏会と位置付けて開催する。 地元演奏家であることを強調し、自身の生い立ちや春日部にちなんだ話を盛り込んで もらうことで、郷土意識の向上を促す。公民館事業であることを出演者にも理解していた だき、聴衆にも伝わるよう努力する。 音響機器照明や照明操作を市民団体に依頼し、紹介、及び交流を促進する。						
成果 参加者の 声など	参加者の声 ・電子オルガン演奏会を初めて聞きましたが、色々な楽器を演奏 しているかのようで驚きました。とても素晴らしかった。 ・身近な場所で音楽鑑賞会のような楽しめるものが年に数回あると、 春日部に住んでいてよかったですと感じます。今後も引き続きよろしく お願いいたします。 ・曲の解説や説明パンフがあり理解しやすく、とても楽しめる内容 でした。 ・演奏が素晴らしいのは勿論ですが、トークも楽しく、終始楽しめ ました。						
課題と展望	春日部市にゆかりのある演奏者であることにこだわっているが、その点の意識を欠いて しまうと単なる提供事業となってしまう。公民館の事業であることかた、郷土色を出すこと に細心。アンケートでは引き続き春日部出身の演奏家を期待する声もあり、公民館の意 図が定着しつつある様にも感じられる。公民館としては演奏者をさがすための情報収集 に努めることが必要であり、過去の演奏者の再演も視野に入れることも念頭に置き、企 画運営に努めていく。						

事業名 テーマ	年少リーダー研修会		対 象	小学5・6年生		定員	20名	
ねらい	子どもたちが、様々な体験を通して、強く、たくましく生きる力をもつきっかけになり、地域で活動する青少年リーダーに育ててもらおうことを目的とする。							
協力機関 及び団体	春日部市子ども会育成連絡協議会		特 色 位置づけ	地域ボランティアと青少年の交流を推進 春日部市内での継続的な活動のきっかけとする		SDGs の目 標No	4・11	
会 場	中央公民館・各地区公民館		教 材 資 料 等	各種体験プログラムにより異なる				
実施ま での 経 過	6月1日(木) 公民館だより発行		P R 方法	広報かすかべ7月号				
	7月1日(土) 広報かすかべ発行			公民館だより6月号				
	7月16日(日) スタッフ打ち合わせ		受付方法	6月1日(木)～7月17日(日)に中央公民館へ電話またはメールで申込み				
月日(曜)	時 間	内 容	方法	参加者			講師・助言者の職名	
				男	女	合計	氏 名	
回 数	総時間数			合計	合計	合計		
7月22日(土)	9:30～12:00	顔合わせ・レクリエーション	実習	19	8	27	角間 洋子(春日部市子ども会育成連絡協議会)	
8月23日(水)～25日(金)		宿泊研修	実習	21	11	32	国立那須甲子青少年自然の家	
9月2日(土)	9:30～12:00	宿泊研修会のふりかえり	実習	7	13	20	公民館職員・学生ボランティア	
9月30日(土)	9:30～12:00	成果発表会準備	実習	14	4	18	公民館職員・学生ボランティア	
10月28日(土)	9:30～12:00	成果発表会	実習	15	5	20	公民館職員・学生ボランティア	
10月29日(日)	9:30～11:30	豊春第二公民館文化祭体験	実習	2	2	4	豊野地区・第二公民館職員	
11月11日(土)	9:30～12:00	キッズフェスティバル準備① サツマイモ収穫体験	実習	9	4	13	公民館職員・学生ボランティア	
12月2日(土)	9:30～12:00	キッズフェスティバル準備②	実習	9	7	16	公民館職員・学生ボランティア	
12月16日(土)	9:30～12:00	スイーツ作り(スイートポテト)	実習	4	7	11	中村 逸平(パティシエ)	
12月28日(木)	9:30～12:00	キッズフェスティバル準備③	実習	14	9	23	公民館職員・学生ボランティア	
1月6日(土)	14:00～17:00	キッズフェスティバル前日準備	実習	14	7	21	公民館職員・学生ボランティア	
1月7日(日)	12:00～16:30	キッズフェスティバル本番	実習	15	8	23	公民館職員・学生ボランティア	
1月20日(土)	9:30～12:00	スイーツ作り補助 (子ども体験教室 パティシエと作ろう! スイートポテト!)	実習	4	1	5	中村 逸平(パティシエ)	
2月11日(日)	12:30～16:00	Showaキッズぴあブース運営	実習	10	5	15	庄和地区公民館職員	
3月2日(土)	12:45～15:30	芸術文化に触れよう! 「ほんやく・おんがく4」オペラの鑑賞	実習	5	3	8	公民館職員	
3月16日(土)	9:30～12:00	「自分の夢を“経済的視点”で考えてみよう」 閉講行事	実習	13	9	22	藤原 良浩 角間 洋子 公民館職員	
16回	40時間45分	(+宿泊研修会2泊3日)		175	103	278		
企画運営 上の工夫	新型コロナウイルス感染拡大防止に努めながらプログラムを実施し、市内で活躍できる場を創造する。企画については協力団体と連携を図りつつ、社会教育主事等の職員を中心に検討し各回のプログラムについて決定する。かつ、昨年までの参加者(OB、OGの中高生を含む)が引き続き市内で活動できる場を提供するとともに、中央公民館以外の各地区公民館事業への受入れを依頼し活躍の場を広げる。							
成 果 参加者の 声など	自然の家ではレクリエーションや登山、班活動を楽しみながらも、施設のルールに則って規律ある生活を行い、社会性、協調性の向上を図った。その後「キッズフェスティバル」の準備や本番の運営、子ども向け事業での補助的な役割を担うなど、継続的な体験事業を展開できた。参加者からは「みんなと仲良くなれてよかった、離れるのがさみしい。」「宿泊研修の登山が大変だったけれど山頂まで登れてよかった。」との感想があった。また、多数の大学生ボランティアの協力を得たほか、過去に参加した現中学・高校・大学生の参加も多数ありリーダー的な活躍をみせた。							
課題と展望	初の試みとして「宿泊研修成果報告会」を実施し、様々な体験から学んだことの感想等を保護者に向けて発表する機会を設けたことで、研修会としての学習要素を持たせるとともに、保護者からも好評を得た。今後も夏季から3月までの事業実施を通じ、継続的な学習機会を提供していく。							

事業名 テーマ	科学館巡回展「宇宙をさわる」		対象	一般		定員	定めず 45名	
ねらい	全国科学館連携協議会による、「巡回展」を利用した展示会。子どもたちの夏休み期間中を利用して、地球上の生物や地球環境への興味・関心を高める。地球などの3D模型や点図パネルを「触る」ことで宇宙を理解する。							
協力機関 及び団体	協力：全国科学館連携協議会		特色 位置づけ	ギャラリーを使った企画 展示会		SDGsの 目標No	4・11・ 14	
会場	中央公民館 ギャラリー		教材 資料等					
実施ま での経 過	12月15日(木) 借用依頼書提出 7月15日(土) 展示物到着 7月23日(日) 展示準備 7月25日(火) 展示会実施 7月29日(土) 特別企画実施 ～30日(日) 7月30日(日) 展示終了・搬出 8月3日(木) 展示物返却(宅配にて 北海道妹背牛町まで)		PR方法	公民館だより6月号、広報かすか べ7月号、ポスター、安心安全情 報メール				
			受付方法	展示物は観覧自由 「ステンドアートで宇宙を描こ う！」は7月14日(金)から直接ま たは電話で申込み				
月日(曜)	時間	内容	方法	参加者			講師・助言者の職名 氏名	
回数	総時間数			男 計	女 計	合計		
7月25日(火)	13:00～17:00	3D模型・点図などの展示 「宇宙をさわる」 	展示 鑑賞	11	15	26		
7月26日(水)	9:00～17:00			10	17	27		
7月27日(木)	9:00～17:00			10	31	41		
7月28日(金)	9:00～17:00			19	42	61		
7月29日(土)	9:00～17:00			31	43	74		
7月30日(日)	9:00～16:00			49	46	95		
1回(6日間)	43時間			130	194	324		
7月29日(土)	13:00～16:00	特別企画「ステンドア ートで宇宙を描こう！」	制作	10	10	20	ステンドアート講師 佐藤 浩子	
7月30日(土)	10:00～12:00			10	7	17		
7月30日(日)	13:30～15:30			8	5	13		
3回	7時間			28	22	50		
企画運営上 の工夫	全国科学館連携協議会より提供された展示物を活用する。公民館利用団体の協力を得て、特別企画展「ステンドアートで宇宙を描こう！」を同会場にて実施し、ステンドアートで宇宙人やロケットなどの絵を描き持ち帰ってもらえるようにする。展示物を理解しやすいよう配慮した展示、飾りつけ行う。							
成果 参加者 の声など	参加者の声・コロナ禍で、触れ合うこともはばかれていましたが、手で触って宇宙を感じることができる企画は視覚障がい者に限らず貴重な体験でした。 ・星の表面の凸凹が表現されていて、とても良かったです。 ・惑星の模型を触れるのが楽しかったので、全部揃っていると、もっと良いと思いました。点字の絵も良かったです。太陽からの距離と大きさの模型も興味深かったです。							
課題と展望	夏休み中のため、多くの親子連れが訪れた。来場者のほとんどは健常者のため、展示物を触るだけでなく、写真や映像の展示を希望する声が多く聞かれた。会場で音声による解説があれば、より理解が深まったのではと推察する。関連企画として、ステンドアートの作品を作製した。また、粕壁地区公民館主催 夏休み子ども体験教室では、つくばエキスポセンタープラネタリウムへ親子10組25名が見学。このように、宇宙というテーマから派生してたくさんの企画が生まれ、夏休みにふさわしい一連の取り組みとなった。今後も全国科学館連携協議会に協力を仰ぎ、専門的な資料による展示を続けたい。							

事業名 テーマ	かすかべライブフェスタ2023		対象	出演バンド： 市内で活動して いるバンド 観覧：一般	定員	出演5組 程度 観覧300名	
ねらい	市内で活動しているバンドに、活動の成果を発表する場を提供すると共にバンドの相互交流の場を設けることにより、市民の芸術、文化活動の発展に寄与する。						
協力機関 及び団体	【音響協力】PAサークルプラグド、主催事業「音響操作セミナー」参加者		特色 位置づけ		SDGs の目 標No	4・11	
会場	中央公民館 講堂		教材 資料等	プログラム			
実施ま での経過	7月1日(土)	広報かすかべ7月号発行	PR方法	広報かすかべ7月号、9月号 公民館だより8月号 ポスター			
	7月15日(土)						出演バンド受付開始
8月1日(火)	公民館だより8月号発行	実行委員会開催	受付方法	出演バンド：7月15日(土)から 中央公民館窓口で先着順。			
8月19日(土)							ポスター掲示開始
9月1日(金)	広報かすかべ9月号発行	前日準備					
9月9日(土)							
月日(曜)	時間	内 容	方法	参加者			講師・助言者の職名 氏 名
回数	総時間数			男	女	合計	
			合計	合計	合計		
9月10日(日)	9:00~12:00	リハーサル	鑑賞	87	58	145	【出演順】 一世Jazz Quartet plus one 闘来行部 fish & chips めしうま THE DRINK BAR 夕焼けカムパニーFromB 出演団体全員(7台-1)
	12:30	開場					
	13:00	開演					
	16:00	終演					
	16:30~17:30	後片付け					
	17:30~17:45	反省会					
1回	7時間45分			87	58	145	
企画運営 上の工夫	例年、出演バンドにより実行委員会を組織している。当日の進行等についての協議、前日準備への協力、当日の照明操作等を各バンドに行ってもらうことで手作りのイベントとするほか、バンド同士がより深く関わられるようにした。また、全員参加のフィナーレを実施できるよう、打ち合わせと協力依頼をした。併せて、実行委員長とともに職員もMCの役割を担い、参加者と協働する公民館事業の典型となっている。なお、主催事業「音響操作セミナー」修了者に対しても運営協力を募った。						
成果 参加者の 声など	協力団体及び出演者、職員が連携し一大イベントを無事に実施することができた。中央公民館ステージ音響の動作に一部不安があったことから、今回は豊春第二公民館から音響機器一式を借用して設営した。そのため、準備には時間を要したが、協力団体の献身的な運営により、準備から当日の運営まで円滑に進行することができた。参加者からは「若かりし頃を思い出した」「暑さが吹き飛んだ」、「とても良かった」等の声があった。						
課題と 展望	幅広い世代による多彩なジャンルのライブ構成となり、来場者の年齢層も様々。出演者同士も世代間の交流が図れている様子が垣間見えた。申込方法は先着順としているが今後は出演希望多数の場合「抽選(くじ引き)」等の方法を含め検討していく。常連バンド同士及び公民館との交流も深まり、実行委員会から当日の運営まで、和やかな雰囲気の中、円滑に実施できており今後の展開にさらに期待が持てる状況になってきている。						

事業名 テーマ	教養講座 人間国宝の『技』を知る ～増村紀一郎先生による講演および実演会～		対象	一般		定員	100名	
ねらい	質の高い芸術作品に触れる機会を提供し文化意識の向上に資する。 春日部親善大使でもある重要無形文化財保持者（人間国宝）を招いての講演および実演会とし、本市における美術をとおした芸術文化の振興を目的とする。							
協力機関 及び団体	共催：社会教育課（社会教育担当）		特色 位置づけ	市内在住の人間 国宝による事業 かすかべ親善試 合による事業		SDGsの 目標No	4.11	
会場	中央公民館 講堂 映像上映(2回目)のみ大会議室		教材 資料等	記録映画（文化庁）				
実施ま での経過	4月 出演者打合せ 7月～8月 社会教育課連絡調整、 実施内容企画		PR方法	広報かすかべ9月号 公民館だより10月号				
	9月1日(金) 広報9月号発行 9月21日(木) 音響照明確認① 10月1日(日) 公民館だより10月号 10月13日(金) 音響照明確認②			受付方法	電話、メール、電子申請にて社 会教育課に申し込み			
月日(曜)	時間	内 容	方法	参加者			講師・助言者の職名	
回数	総時間数			男	女	合計	氏 名	
10月15日(日)	13:00～15:00	文化庁記録映画上映 「技」の解説と実演	上映 講義 実演 上映	33	51	84	増村 紀一郎 (人間国宝)	
	15:00～15:30	文化庁記録映画上映 「髹漆 増村紀一郎のわざ」						
	1回			33	51	84		
企画運営 上の工夫	市内在住の重要無形文化財保持者（人間国宝）であり、かすかべ親善大使としても活躍されている増村紀一郎先生による、漆芸（しつげい）に関する講演と、めったに見ることのできない作品制作の過程を披露いただく。専門的な知見のない一般の方にもわかりやすい内容とし、市民が文化・芸術に一層親しむ機会とする。出演者の手元をビデオカメラで写しながら、プロジェクターで拡大投影し、人間国宝の技術（手の動き等）を聴講者がより間近に見ることができるよう工夫した。							
成果 参加者 の声など	社会教育課職員と公民館職員で連携を密にし、舞台運営を円滑に進行することができた。増村 紀一郎先生をフォーカスした文化庁によるドキュメント映画（記録映画）を上映をしたことで、より理解が深まったとの感想が多く寄せられたほか、「制作過程を見ることができ、夢のまた夢かと思っていたので嬉しかった」、「アートや工芸に関する講座があれば、また是非参加させていただきたい」との感想があった。							
課題と展望	初の試みとなったが、多数の参加者を得て実施することができた。社会教育課をはじめ関係各課と連携し、市の芸術・文化活動の振興を図っていく。市ゆかりの人材、文化財等に着眼した各種学習講座等を展開していきたい。							



事業名 テーマ	教養講座 県立大生と一緒に学ぶ スマホ相談カフェ		対象	65歳以上	定員	80名	
ねらい	デジタルデバインド解消のため、スマートフォン操作に不安のある高齢者を対象に、操作の基礎を学習する機会を提供する。						
協力機関 及び団体	埼玉県立大学 小川 孔美准教授、埼玉 県立大学やどり木SPUスマホサロン、 市役所行政デジタル改革課	特色 位置づけ	DX推進事業 デジタルデバインド解 消を目的とする	SDGsの 目標No	4.11		
会場	中央公民館 アトリエ、大会議室	教材 資料等	教材は、講師・スタッフで準備				
実施ま での経過	1月	講師と行政デジタル改革 課による内容調整	PR方法	公民館だより8月号			
	2月～4月 8月1日(火)	実施日程調整 公民館だより8月号発行	受付方法	電話または直接窓口にて申込み			
月日(曜)	時間	内 容	方法	参加者			講師・助言者の職名 氏 名
回数	総時間数			男 合計	女 合計	合計	
9月30日(土)	13:30～15:00	LINEを使ってみよう	体験	7	20	27	埼玉県立大学 小川 孔美 准教授 埼玉県立大学やどり 木SPUスマホサロン 市役所行政デジタ ル改革課職員
10月21日(土)	13:30～15:00	写真を楽しもう	体験	4	18	22	
11月11日(土)	13:30～15:00	地図を見て出かけよう	体験	7	21	28	
3回	4.5時間			18	59	77	
企画運営 上の工夫	先行して実施されている千間台西エリア地域支え合い会議での事例「高齢者へのIT教育、ふらっと立ち寄れる場所、県大生との交流」に基き、活動実績のある埼玉県立大学の教授や学生に協力を得て実施が実現した。春日部市のDX推進の取り組みの一つとして、行政デジタル推進課が大学側と調整を図ったもの。学生と高齢者を同一のグループとし、マンツーマン指導に近い状態でスマホ操作の対応が可能となった。						
成果 参加者 の声など	「スマホをとりあえず家族から持たされたが、使い方がさっぱりわからない」といった参加者も多かったが、学生の献身的なサポートを受けながら、様々な機能を実体験し、学びを深めていた。「LINEを使ってみたかったが、念願がかなった」との感想もあり、好評を得た。						
課題と展望	包括的連携を締結している大学をはじめ、春日部市近隣の大学等と積極的に連携し、専門的教育機関によるノウハウに基づいた学習の機会を提供できれば良好と思われる。また、講師のほかに学生の協力を得ることで、子ども向けや高齢者向けなど幅広く展開しうることから、ボランティア等による学生の参画を積極的に募っていきたい。						



事業名 テーマ	第9回 春日部市 障がい者作品展 (第7回共に生きよう！フェスティバル)		対象	成人一般		定員	設けず	
ねらい	普段交流する機会の少ない市内の障がい者同士が美術、工芸作品などの展示、鑑賞を通じて交流することにより、市民の間に広く障がい者の福祉についての関心と理解を深めるとともに、障がい者が社会、経済、文化、その他あらゆる分野の活動に積極的に参加する意欲を高めることを目的とする。							
協力機関 及び団体	共催 春日部市(障がい者支援課) 協力 県立久喜図書館 今仙技術研究所(岐阜県)		特色 位置づけ	令和5年度障害者 週間期間中の開催	SDGs の目 標No	4・10・ 11 ・17		
会場	中央公民館 ギャラリー		教材 資料等	作品目録				
実施までの 経過	7~8月 担当者打合せ 10月1日(日) 広報かすかべ・公民館だ り10月号(作品募集) 10月3日(火) 作品応募受付開始 11月1日(水) 広報かすかべ11月号(開催 案内)ポスター掲示 11月2日(木) 作品応募締切 11月24日(金) 打合せ会(参加団体、参加 者対象) 12月3、5日 作品搬入		PR方法	作品公募 公民館だより10月号 広報かすかべ10月号 市内全事業所、昨年参加の 個人に案内 展示会開催 ポスター 広報かすかべ11月号				
			受付方法	出品募集(10/3~11/2) 応募用紙は各公民館、障がい者支援課 で配布。受付は中央公民館、障がい者 支援課で。展示会見学は直接中央公民 館へ				
月日(曜)	時間	内 容	方法	参加者			講師・助言者の職名	
回数	総時間数			男	女	合計	氏 名	
			合計	合計	合計			
12月5日(火)	13:00~17:00	一般公開	展示	30	44	74	「虹色」 ヘルマンハーブ「風の音」 「虹色」 ヘルマンハーブ「風の音」 ザ昭和歌謡団	
12月6日(水)	9:00~17:00	一般公開	鑑賞	84	117	201		
12月7日(木)	9:00~17:00	一般公開		46	98	144		
12月8日(金)	9:00~17:00	一般公開		78	99	177		
12月9日(土)	9:00~17:00	一般公開		89	108	197		
	14:00~16:00	ザ昭和歌謡団「歌謡コンサート」		88	162	250		
12月10日(日)	9:00~16:00	一般公開		58	77	135		
6日間	45時間00分			473	705	1,178		
企画運営上 の工夫	例年どおり、「共に生きようフェスティバル」の展示の部として開催した。一般公募するほか、市内の障害者施設、団体及び昨年出品の個人にも直接、案内を送付し出品依頼をした。また、展示面積を確保するため、事前に電話で譲り合いの依頼をした。あわせて、希望する団体には会場内での手作り品の販売も可能とした。公民館の企画として、バリアフリー図書や義足の展示も行ったほか、会場内、障がい者でも弾くことが可能な「ヘルマン・ハーブ」の演奏を開催し演奏体験も行った。また、視覚障害のある「虹色」によるミニコンサートも行った。ギャラリーの運営に際しては中央公民館職員、社会教育実習生(大学生)と障がい者支援課職員で受付を分担。歌謡コンサートでは出演団体の協力を得ながらステージ設営を行い、中央公民館職員が舞台音響・照明等を担った。							
成果 参加者 の声など	25団体、個人3名の参加があり、初日を除き連日100名以上の来場があった。【参加者アンケートより】 ・毎回楽しみに来館します。毎回作品の素晴らしさに感動します。皆さんの気持ちの前向きさが伝わるような気がします。・年々、作品を通して子供たちの頑張りを感じております。素敵な作品展。子供たちに輝くチャンスをごさきりありがとうございます。引き続き毎年続けていただけたらと思います。・とても素晴らしいフェスティバルでした。気持ちが楽しくいやされました。ありがとうございました。・年代物の歌は私たちにとって懐かしく華やかでとても楽しかったです。							
課題と展望	事前に展示スペースの確認をしたことにより各団体ごとにほぼ隙間なく展示することができた。近年は参加団体が増えてきており、今後はスペース(展示幅)の制限が必須になることが想定される。今年度は制作物などの物品販売が少なかったことから、展示と併せた販売も可能である旨、事業所及び個人に対してより一層の周知が必要である。ステージの部では、市身体障害者福祉会との連携を密にしながら出演者の選定等を行っていきたい。							

事業名 テーマ	キッズフェスティバル	対象	小学生まで	定員	80名		
ねらい	子どもたちにもものづくりの場を提供するとともに、幅広い年齢間の交流を図り、社会性や感性を育む。また、7月から実施している「年少リーダー研修会」のプログラムとして位置付け、年少リーダーメンバーを中心に、事業運営や地域活動を体験する場とし、一つの事業を作り上げる機会を提供する。併せて、公民館利用者等に協力を仰ぎ、公民館活動の成果を還元する機会とする。						
協力機関 及び団体	協力：春日部市子ども会育成連絡協議会、中央公民館利用サークルほか	特色 位置づけ	冬休み開催 年少リーダー研 修会の一環	SDGsの 目標No	4.11		
会場	中央公民館 講堂	教材 資料等	教材は、講師・スタッフで準備				
実施ま での経 過	11月～12月 講師折衝 11月11日(土) 第1回準備 12月1日(金) 広報かすかべ12月号 公民館だより12月号	PR方法	公民館だより12月号 広報かすかべ12月号				
	12月2日(土) 第2回準備 12月8日(金) 参加申込み受付開始 12月28日(木) 第3回準備 1月6日(土) 前日準備	受付方 法	12月8日(金) から電話また は直接窓口にて 事前申込み				
月日(曜)	時間	内 容	方法	参加者			講師・助言者の職名 氏 名
回数	総時間数			男 合計	女 合計	合計	
1月7日(日)	13:00～16:00	 <p>「バルーンアートで遊ぼう」 「自分図鑑」・体験型EQワーク 「折り紙を楽しもう」 「遊びの広場」・魚釣りゲーム・ボール投げ・ボール飛ばしほか 「館内オリエンテーリング」・宇宙人からのメッセージを解き明かせ 「ピュアキッズミュージカル DREAM」</p>	体験	124	163	287	庄和チャレンジ隊の皆さん 宮澤 潤幸 (DAIJOUBU) 折り紙サークルの皆さん ピュアキッズの皆さん 年少リーダー研修参加者 春日部市子ども会育成連絡協議会 角間 洋子 文教大学社会教育実習生 学生ボランティア (文教大学、帝京大学)
1回	3時間			124	163	287	
企画運営 上の工夫	年少リーダー研修会のプログラムの一環に位置づけ、参加者である児童、生徒が運営スタッフとして当日のブースを担当することとした。その際、複数の準備日程を設け出し物の製作時間を確保した。年少リーダーが製作した内容は段ボール等の廃材を活用した「ボール投げ」、「ボール飛ばしゲーム」など。過去の参加者の傾向から未就学児を主な対象とした遊びのブースを複数設けた。また、外部講師や公民館利用サークルなど協力を仰ぎ、当日の講師を依頼したほか、新たにステージを活用した演目として、市内で活動するミュージカル団体を招き、演目を上演した。						
成果 参加者 の声など	年少リーダー研修会開催日程のうち4日間を準備期間に充てるとともに、学生ボランティアや社会教育実習生の献身的な協力を得たことで、万全の態勢で事業実施を迎えることができた。年少リーダーが運営した「遊びの広場」ブースでは、積極的に来場者を呼び込む姿や未就学児・低学年児童に遊び方をレクチャーする様子が見受けられた。また、各ブース、講師の好意的な協力体制を得て盛況のうちに終了することができた。						
課題と展望	市内の複数の公民館で子ども向けのフェスティバルを開催し講評を得ている。中央公民館では講堂(体育館)内で複数のブースを設けるスタイルが浸透してきているため、引き続き、会場で一体となって楽しめる企画なども検討していきたい。年少リーダー研修会参加者の活躍の場としては、またとない良好な機会となっており、研修会への継続的な参加を促すための良好なプログラムとなっている。今後もより多くの児童、生徒が企画運営に関われるよう継続していきたい。						

事業名 テーマ	中央公民館利用者協議会 陶芸窯利用者のつどい		対象	公民館利用者及び 利用予定者	定員	定めず	
ねらい	利用者同士の交流の場とし、公民館とともに公民館のよりよい運営を模索するものとする。						
協力機関 及び団体		特色 位置づけ	公民館利用サークルの交流と意見交換の機会とする	SDGs の目標No	4・11		
会場	中央公民館 大会議室		教材 資料等	公民館利用のてびき 利用者会議資料 公民館へのご意見・ご要望 春日部市公民館利用団体票			
実施までの経過	12月1日(金) 公民館だより12月号掲載 窓口にて通知配布 館内ポスター掲示		PR方法	公民館だより12月号掲載 館内にポスターを掲示 窓口でチラシを配布			
			受付方法	直接会場へ (自由参加)			
月日(曜)	時間	内 容	方法	参加者			講師・助言者の職名 氏 名
回数	総時間数			男 計	女 計	合計	
1月20日(土)	13:30~15:00	公民館の説明、利用協議 情報交換	協議	20	17	37	
	15:00~15:30	陶芸窯の説明、利用協議 情報交換	協議				
1回	2時間			20	17	37	
企画運営 上の工夫	開会后、すべてのサークルに自己紹介をしてもらい、活動内容等を差し支えない範囲で教示いただき、参加者同士の交流のきっかけを生み出すよう工夫した。また、社会教育法にもとづく公民館の役割を踏まえたうえで、学習の成果を「地域に還元」することや様々な「事業に参画すること」などの重要性を理解してもらい、利用者同士の情報交換の時間を設けた。 陶芸窯利用者については、利用方法を改めて周知するとともに、倉庫等の適正利用について改めて理解いただくよう、職員とともに倉庫の確認を行った。						
成果 参加者 の声など	単なる利用方法や予約手続き方法の説明のみではなく、利用者と職員の関係性を構築できるよう自己紹介や、公民館の役割に関する説明、主催事業への協力等についてお願いする時間に重点を置いた。自己紹介のなかで、「サークル体験月間」に参加したことにより新規メンバーが加入したとの発言もあった。併せて、「市民センター（地区センター）化」についての意見等も多々発言があった。今後も、公民館としてできる限りのサークル支援を継続し、各サークルが良好な運営を継続できるように努めていく。						
課題と展望	公民館を使うだけでなく、学んだ成果を地域に還元するため、まずは利用者が充実した公民館活動を行えるよう支援をすることが不可欠である。今回、自己紹介時の発言によると、発足から20年、30年と歴史を経て継続しているサークルが多数あることも伺えた。各サークルが深みを増し、歴史を紡いでいく過程を支援できるよう、公民館職員としての意識を持ちながら、日頃から窓口等での対応をベースに、関係性を構築していきたい。						

事業名 テーマ	令和5年度 第24回 春日部市16公民館合同フェスティバル		対象	一般	定員	なし	
ねらい	公民館利用者の学習成果の発表の場を提供するとともに、市民主体の生涯学習を一層推進し、また地域文化の向上を目指して開催する。市内公民館利用者が中央公民館に一堂に会して、活動成果の発表、活動紹介、学習機会提供の場とするとともに、市民相互の交流の機会を設ける。						
協力機関 及び団体	春日部市民劇団 かざぐるま PAサークル プラグド		特色 位置づけ	実行委員会形式 市内16公民館に よる共催 公民館職員会議 によるプロジェ クト企画	SDGsの 目標No	4・11	
会場	春日部市中央公民館		教材 資料等	パンフレット			
実施ま での経 過	8月～11月	職員会議プロジェクト企画 担当による内容検討	PR方法 (予定)	公民館だより8・12月号 パンフレット及びポスター 広報かすかべ1月号			
	8月1日(火)	公民館だより8月号(参 加団体募集記事掲載)		受付方法	【参加団体】 参加申込受付 9月1日(金)～9月30日(土)		
9月1日(金)	参加申込書配布開始	【来場者】 直接来館					
10月12日(木)	公開抽選(※実施なし)		12月1日(金)				
11月18日(土)	第1回 実行委員会	公民館だより12月号 (開催周知記事掲載)					
12月1日(金)	広報かすかべ1月号(開 催周知記事掲載)	第2回 実行委員会					
1月1日(月)	第3回 実行委員会	2月24日(土)					
月日(曜)	時間	内 容	方法	参加者			講師・助言者の職名 氏 名
回数	総時間数			男	女	合計	
1月28日(日)	13:00~16:00	展示部門作品搬入	展示 発表 体験 模擬店	22	45	67	実行委員長:常世田 周治(模擬店部門) 副実行委員長:丸茂 とよ子(ステージ部門) 飯 塚 綾子(展示部門) 菱 沼 美津江(体験部門) 村 上 修一(模擬店部門) 【ステージ部門】 舞台照明:春日部市民 劇団 かざぐるま 舞台音響:PAサークル プラグド
1月30日(火)	9:00~11:00	展示部門作品搬入		17	31	48	
1月30日(火)	13:00~16:00	展示部門		17	54	71	
1月31日(水)	10:00~16:00	1/30		32	92	124	
2月1日(木)	10:00~16:00	～2/4開催		29	83	112	
2月2日(金)	10:00~16:00			18	61	79	
2月3日(土)	9:30~16:20	ステージ部門 体験部門 模擬店部門		546	818	1364	
2月4日(日)	9:10~16:00	(2/3, 2/4開催)		503	755	1258	
実施6回(日)	34時間40分			1184	1939	3123	
企画運営 上の工夫	4年振りの開催となった昨年度(令和4年度)の成果をもとに、今回も各館の職員からなる「職員会議プロジェクト企画担当」により実施方法等の見直し・協議を重ね、実行委員会を経て開催に繋げる。今回は、新型コロナウイルス感染拡大以前のように「体験部門」及び「模擬店部門」を開催する。						
成果 参加者 の声など	4年振りの開催となった昨年度の成果をもとに、今回も各館の職員からなる「職員会議プロジェクト企画担当」により実施方法等の見直し・協議を重ね、実行委員会を経て無事に開催することができた。今回は、新型コロナウイルス感染拡大以前のように、「体験部門及び模擬店部門」を開催することができた。飲食物の提供があることで、出演者や来場者からも大変好評を得た。今年度の成果・反省点を反映させ次年度以降、よりよい事業となるよう努めていく。 [参加者アンケートより]・公民館の大切さを感じた2日間でした。皆さんの演奏等、素晴らしかったです。ロビーでは飲食もでき素晴らしい。・多くの人が自分の心と健康のため、時間を作って楽しみながら活動していることを感じられる催しでした。沢山の元気をもらいました。・公民館で色々なことをされていることを今回、初めて知りました。						
課題と展望	ステージ部門の進行方法や展示部門の開催期間、駐車場の確保等、一部に課題が残った。今回の成果・反省点を反映させ次年度以降、実施形態を一部見直ししながら、引き続き公民館利用団体の活動成果発表の機会を提供していく。						

事業名 テーマ	企画展示会 災害報道写真展 「平成28年熊本地震報道写真展」		対象	一般		定員	なし	
ねらい	多発する自然災害への理解を深め、防災意識の高揚を図る。東日本大震災の発生した時期に合わせ、春日部市での災害対策の意識を醸成する。							
協力機関 及び団体	協力 朝日新聞社		特色 位置づけ			SDGsの 目標No	4・11・13	
会場	中央公民館 1階 メディアホール		教材 資料等	朝日新聞社提供(A3 約35枚)				
実施ま での経 過	12~1月 1月23日(火)	関係各所と打ち合わせ 熊本地震報道写真の利用 についての覚書提出	PR方法	公民館だより2月号 来館者向けポスター 及び案内表示				
	2月21日(水) 2月22日(木)	パネル等借用 展示・準備						
	3月10日(日) 3月14日(木)	片付け パネル等返却	受付方法	当日会場受付				
月日(曜)	時間	内 容	方法	参加者			講師・助言者の職名 氏 名	
				男	女	合計		
回数	総時間数			合計	合計	合計		
2月27日(火) ~ 3月10日(日)	施設の開館 時間に同じ	災害報道写真展 「平成28年熊本地震 報道写真展」	展示 鑑賞	観覧自由とした ため集計せず			朝日新聞 CSR推進部	
1回(12日間)								
企画運 上の工夫	ギャラリー施設(2階)を使った公民館主催の企画展として実施してきたが、今年度はエレベーター改修工事のため、1階メディアホールにて開催。時節に合わせて、市民が高い関心を持つと想定される題材を取り扱う。防災への意識啓発を図る展示物(パネル等)を無料で借用できる提供元に協力を依頼した。							
成 果 参 加 者 の 声 など	公民館1階メディアホール(ロビー)での展示としたことから、公民館施設利用の待合時や、学習スペースの利用時など、幅広い年齢層の来館者に気軽に観覧してもらうことができた。ロビーでの自由観覧としたことから、アンケート等の実施や、学習講座等の開催はしていないものの、多くの方が観覧している様子が見受けられた。							
課題と展望	施設的な特徴としてギャラリーが2階に位置しており「展示物の鑑賞が目的ではないが、ついでに立ち寄る」にはやや不便であり、足が遠のいている様子が見受けられる。したがって従前のようなギャラリーでの1週間(6日間程度)の企画展ではなく、今回のような比較的長期間のロビー展示にすることも引き続き考えていきたい。多くの来館者の目に触れ、職員の負担(会場での当番等)も軽減できる利点がある。							

事業名 テーマ	講堂機器操作説明会		対象	公民館（講堂） 利用団体	定員	なし	
ねらい	中央公民館の講堂をコンサート・音楽会・講演等で利用するのに必要となる会場設営や照明・音響装置の基本操作方法を習得し、利用団体が当日円滑に舞台運営ができることを目的とする。						
協力機関 及び団体		特色 位置づけ		SDGs の目 標No	4・11		
会場	中央公民館講堂		教材 資料等	機器説明資料			
実施まで の予定	主に事業担当職員は講堂機器の操作方法について最低限の理解に努める。ワイヤレスマイク、有線マイクの音出しからPA卓の基本操作を理解しておく。併せて、オペレーションルームからの照明操作（シーリングライト、サスペンションライト、 Horizont ライト等）について一定の知識を有したうえで機器操作説明会での指導にあたる。		PR方法	講堂申込時に計画概要書と併せて「予定表」を配布し周知			
			受付方法	電話または直接中央公民館へ事前申し込み			
月日（曜）	時間	内 容	方法	参加者			講師・助言者の職名 氏 名
回数	総時間数			男	女	合計	
			合計	合計	合計		
5月10日（水）	9：00～11：00	第1回	講習 実技	5	0	5	公民館事業担当職員
7月7日（金）	9：00～11：00	第2回		8	2	10	
9月9日（土）	9：00～11：00	第3回		16	17	33	
12月8日（金）	9：00～11：00	第4回		1	9	10	
3月9日（土）	9：00～11：00	第5回		5	8	13	
5回	10時間			35	36	71	
企画運営 上の工夫	かつては都度、利用団体ごとに操作説明を実施していたが、平成23年度からおよそ2か月に1回程度操作説明会を実施。いずれかの日程への参加を促すことで説明会の効率化を図る。講堂の利用に際し「催物概要書」の配布にあわせて説明会の日程を示し、操作に不安がある団体は参加するよう呼びかける。また、都合をつけやすいよう平日のほか土曜日にも開催日を設ける。なお、中央公民館の新任職員は、機器操作の理解度を平準化するため新任職員を中心にOJTの一環として参加を促す。						
成果 参加者 の声など	参加者に音響機器や照明機器に実際に触れてもらうことで、理解を深める機会を提供できた。「安心して本番を迎えられる」との声も多数あり、円滑な講堂利用のために重要な講習会となっている。一方、「説明会から実際に使用するまでに間があり忘れてしまう。」などの声もあった。総じて多くの利用団体が会場設営や照明、音響装置の基本操作方法を習得したと思われる。						
課題と展望	講堂の音響や照明を使用した経験があっても、次に使用するまでに期間が経ってしまうことで、操作方法を忘れてしまっている場合が多い。利用団体が催物を円滑に運営できるようにするためには都度、研修を受けてもらう必要がある。利用団体に対し、運営が困難な状況にあっては職員も補助をするが、当初から「頼めば職員がどうにかしてくれる」という意識ではなく「自主的に催物を運営していく」という意識へ変容させるよう継続して支援していくことが望まれる。						

事業名 テーマ	「今月のお知らせ」発行		対象	公民館利用者 (来館者)		定員	
ねらい	主催事業や「講堂」、「ギャラリー」を使用した催物等の情報を掲載し、公民館利用者及び地域住民に伝達することで公民館利用を促進する。毎月のイベントを時系列に掲載できることから、『公民館だより』と並行した公民館事業等のPR手段として期待される。						
協力機関 及び団体	講堂及びギャラリー利用団体		特色 位置づけ		SDGs の目 標No	4・11	
会場			教材 資料等				
実施ま での経 過	毎月中順	講堂、ギャラリーの催物 計画概要書等を参照し、 紙面作成 発行	PR方法	窓口、チラシ配架スペースのほか 公民館新着情報(ブログ)に掲載			
	毎月下旬		受付方法				
月日(曜)	時間	内 容	方法	参加者			講師・助言者の職名 氏 名
回数	総時間数			男 計	女 計	合計	
毎月1日発行 (毎月100部程度配架)		講堂利用団体による市民一 般を対象とした催物の周知 ギャラリー利用団体による市 民一般を対象とした展示会 等の周知 中央公民館主催事業の周知 粕壁地区公民館主催事業の周知 裏面に『公民館の役割に ついて』連載					
12回				0	0	0	
企画運営上 の工夫	『公民館だより』や個別のチラシ、ポスター等のほかに、一枚で広く公民館事業の周知 ができる媒体として、毎月発行することとした。併せて裏面の空きスペースを活用し、公 民館の役割や、主催事業の告知、実施報告などを掲載する。						
成果 参加者 の声など	試験的に毎月、『今月のお知らせ』を発行するようになってから数年間しか経過してい ないが、月末になると、翌月号の配架についての問合せが多数あるほか、毎月の発行 を楽しんでいるとの声もあるほどに浸透してきている。また、令和5年度は主に社会教 育主事有資格者が作成を担当し、裏面『公民館の役割』の連載を通じ、資質を発揮す る機会の一環とした。						
課題と展望	今後も一層、必要な情報を正確に伝えるためにレイアウト等を工夫し、見やすく、わかり やすい魅力ある紙面づくりに努める。また、紙面の状況に応じ、サークルや地域情報を 掲載する等して、裏面に掲載するなど、発展的な活用について検討していきたい。						

